

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7 本文-020-6 改1
提出年月日	2020年6月18日

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料  
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備のうち  
非常用発電装置  
(可搬型窒素供給装置用電源設備)

2020年6月

東京電力ホールディングス株式会社

## 2.5 可搬型窒素供給装置用電源設備

### (2) 内燃機関

#### イ 機関及び過給機

- ・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用内燃機関（6,7号機共用）

#### ロ 調速装置及び非常調速装置

- a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用調速装置及び非常調速装置（6,7号機共用）

#### ハ 内燃機関に附属する冷却水設備

- ・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ（6,7号機共用）

#### ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク

- ・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用燃料タンク（6,7号機共用）

### (5) 発電機

#### イ 発電機

- ・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（6,7号機共用）

#### ロ 励磁装置

- ・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用励磁装置（6,7号機共用）

#### ハ 保護継電装置

- a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用保護継電装置（6,7号機共用）

#### ニ 原動機との連結方法

- a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（6,7号機共用）

2.5 可搬型窒素供給装置用電源設備

(2) 内燃機関に係る次の事項

イ 機関の名称, 種類, 出力, 回転速度, 燃料の種類及び使用量, 個数並びに取付箇所並びに過給機の種類, 出口の圧力, 回転速度, 個数及び取付箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)

・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用内燃機関(6,7号機共用)

			変更前	変更後	
名 称				可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用内燃機関(6,7号機共用) <sup>*1</sup>	
機 関	種 類	—	—	4サイクル水冷直接噴射式ディーゼル機関	
	出 力	kW		96.3	
	回 転 速 度	min <sup>-1</sup>		1500	
	燃 料	種 類		—	軽油
		使 用 量		L/h	20.9
	個 数	—		1 <sup>*2</sup>	
	取 付 箇 所	—		可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備	
過 給 機	種 類	—	排気タービン式		
	出 口 の 圧 力	kPa	0.2		
	回 転 速 度	min <sup>-1</sup>	123000		
	個 数	—	1 <sup>*2</sup>		
	取 付 箇 所	—	内燃機関と同じ		

注記\*1 : 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備の付属機器である。

\*2 : 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用内燃機関1個当たりの個数を示す。

ロ 調速装置及び非常調速装置の名称及び種類

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用調速装置及び非常調速装置 (6,7号機共用)

		変更前	変更後	
名称		—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用調速装置 (6,7号機共用) *	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用非常調速装置 (6,7号機共用) *
種類	—		電気式	電気式

注記\* : 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備の付属機器である。

ハ 内燃機関に附属する冷却水設備の名称、種類、容量、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用機関付冷却水ポンプ（6,7号機共用）

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用 機関付冷却水ポンプ（6,7号機共用）*1
種 類	—	うず巻形		
容 量*2	m <sup>3</sup> /h	□以上（□*3）		
個 数	—	1*4		
取 付 箇 所	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備		

注記\*1：可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備の付属機器である。

\*2：重大事故等時における使用時の値。

\*3：公称値を示す。

\*4：可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用内燃機関1個当たりの個数を示す。

ホ 燃料デイトンク又はサービスタンクの名称，種類，容量，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用燃料タンク（6,7号機共用）

			変更前	変更後	
名 称			—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用 燃料タンク（6,7号機共用）*1	
種 類	—			角形	
容 量	L			<input type="text"/> 以上（740*2）	
最 高 使 用 圧 力 *3	MPa			静水頭	
最 高 使 用 温 度 *3	℃			80	
主 要 寸 法	た	て		mm	<input type="text"/>
	横			mm	
	高	さ		mm	
材 料	—			SEHC	
個 数	—			1*4	
取 付 箇 所	—		可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備		

注記\*1：可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備の付属機器である。

\*2：公称値を示す。

\*3：重大事故等時における使用時の値。

\*4：可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 1 個当たりの個数を示す。

(5) 発電機に係る次の事項

イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備（6,7号機共用）

			変更前	変更後
名 称				可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (6,7号機共用)
種 類	—			同期発電機
容 量	kVA/個			
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
	高 さ	mm		
	車 両 全 長	mm		8670*
	車 両 全 幅	mm		2490*
	車 両 高 さ	mm		3570*
力 率	—			0.8
電 圧	V			200
相	—			3
周 波 数	Hz			50
回 転 速 度	min <sup>-1</sup>			1500
結 線 法	—			星形
冷 却 方 法	—			自由通流
個 数	—			2（予備1）
取 付 箇 所	—			保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L. 約37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L. 約35000mm 上記2箇所にそれぞれ1個ずつ保管するとともに、予備1個を上記2箇所のうちいずれかに保管する。  取付箇所： 【6号機】1個 【7号機】1個 屋外 T.M.S.L. 約12000mm 可搬型窒素供給装置

注記\*：公称値を示す。

ロ 励磁装置の名称，種類，容量，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・可搬型

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用励磁装置（6,7号機共用）

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用励磁装置（6,7号機共用）*1
種 類	—	ブラシレス励磁方式		
容 量	kW	<input type="text"/>		
個 数	—	1*2		
取 付 箇 所	—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備		

注記\*1：可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備の付属機器である。

\*2：可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 1 個当たりの個数を示す。



ハ 保護継電装置の名称及び種類

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用保護継電装置 (6, 7号機共用)

		変 更 前	変 更 後
名 称		—	可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備用保護継電装置* (6, 7号機共用)
種 類	自 動 遮 断 用		過電流継電器
	警 報 用		—

注記\* : 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備の付属機器である。

ニ 原動機との連結方法

a. 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (6,7号機共用)

	変更前	変更後
原動機との連結方法	—	機関直結